

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
2. 日時：令和3年11月10日（水）10時30分～11時40分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、佐藤（匡）室長補佐、佐藤（雄）管理官補佐、（以下、
テレビ会議システムによる参加）林技術参与、平山技術参与

福島第一原子力規制事務所

廣岡原子力防災専門官、黒川原子力運転検査官、松本原子力運転検査官
（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 敷地全般管理・対応プログラム部 1～4
号周辺屋外対応プロジェクトマネジャー 他5名（テレビ会議システムに
よる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、1号機及び2号機非常用ガス処理系（以下「SGTS」という。）配管の一部撤去作業における事故分析調査として今後実施予定のガンマカメラによるSGTS配管の汚染密度の測定について、東京電力にて用意するガンマカメラの種類、測定現場の準備状況等に関する説明があった。
- これに対して、原子力規制庁から、各ガンマカメラの特徴等について確認するとともに、本調査の前に各ガンマカメラの測定範囲の確認等を現場にて行うよう伝達した。

6. 資料

なし

以上